

一般会計3月補正予算等の概要について (令和5年度一般会計補正予算第8号等)

■3月補正予算

(1) 概要

一般会計は、既定の歳入歳出予算の総額に2億9,115万5千円を追加し、補正後の歳入歳出予算の総額を236億219万2千円にするものです。

主な補正内容は、

◎ 物価高騰の影響を受けた生活者や事業者を支援するための補正

なお、集約の結果、歳入と歳出に差額が生じたため、財政調整基金繰入金を1億8,245万5千円減額することで収支を調整しています。

特別会計では、主に、介護保険(保険事業勘定)特別会計における居宅介護サービス利用の増加に伴うサービス給付費の補正などにより、総額3,578万1千円を増額する補正予算となっています。

事業会計では、主に、請負差金及び事業の見直しに伴う補正などから、収入では総額1億5,904万4千円を減額し、支出では総額1億6,052万2千円を減額する補正予算となっています。

(2) 主な歳入歳出補正予算(一般会計)

① 物価高騰の影響に対応するための補正

※次の2事業については、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金等を活用

《歳出》

■電子地域通貨事業＝4億3,368万8千円(企画課)

→市内店舗で使用可能な地域通貨を導入し、プレミアム付のポイント還元を実施することにより、物価高騰の影響を受けている市民及び市内事業者を支援するため増額補正するものです。また、併せて予算を翌年度に繰り越すものです。

【対象者】市民

【ポイント還元率】30%(スマートフォンでのチャージに対してポイントを付与)

※チャージの上限額10,000円(ポイント上限額3,000円)

【対象店舗】市内事業者(地域通貨への参加店舗)

【実施期間】ポイント還元期間：令和6年11月1日～令和6年12月20日(予定)

※ポイント交付総額(9,000万円)に達した時点で終了
通貨使用期間：令和6年11月1日～令和7年1月31日(予定)

【次頁へ続く】

① 物価高騰の影響に対応するための補正（続き）

■農林業物価高騰対応支援事業＝2,402万1千円（農林課）
→物価高騰の影響により、生産資材の高騰による影響が農林業経営に及んでいることから、農林業従事者へ支援金を交付するため増額補正するものです。また、併せて予算を翌年度に繰り越すものです。

【対象者】農業：市内に主たる事業所を有し、直近の事業年分の法人税の申告をしている法人、又は市内に住所を有し令和4年に農業所得を申告している個人事業主

林業：市内に所在する法人又は市内に在住する個人事業主で、令和4年4月1日から令和5年3月31日の間で、主に林業に従事した者がいること

【支援金額】法人：20万円（上限） 個人：10万円（上限）

【支援内容】農業：令和4年確定申告で計上した肥料費の10%及び諸材料費の20%の金額の合計

林業：林業に200日/年以上従事した者が一人以上いる場合は満額、200日/年に満たない場合は、不足する日数に応じて減額

【申請期間】令和6年度の早い時期（予定）

《歳入》

■電子地域通貨利用者入金収入＝3億円（企画課）
→電子地域通貨事業の実施に伴う市民1人あたり上限1万円のチャージ額分の収入を増額補正するものです。

■物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金＝1億1,557万4千円（財政課）
→エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者に対する「推奨事業メニュー分」として、国庫補助の交付が見込まれるため増額補正するものです。

■普通交付税（追加交付分）＝1億2,893万2千円（財政課）
→国の補正予算により、普通交付税において臨時経済対策費及び臨時財政対策債償還基金費が臨時費目として創設され、再算定による追加の交付決定を受けたため増額補正するものです。

② その他の主な歳入歳出補正（一般会計）

《歳入》

■障害者自立支援給付費国庫負担金＝2,719万6千円（社会福祉課）

■障害者自立支援給付費県負担金＝1,359万8千円（社会福祉課）

■新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費国庫補助金＝△3,962万9千円

（新型コロナウイルスワクチン接種対策室）

■新型コロナウイルスワクチン接種対策費国庫負担金＝△2,022万8千円

（新型コロナウイルスワクチン接種対策室）

《歳出》

■減債基金積立事業＝6,267万2千円（財政課）

■介護・訓練給付事業＝5,439万2千円（社会福祉課）

■新型コロナウイルスワクチン接種事業＝△5,962万9千円（新型コロナウイルスワクチン接種対策室）

■ごみ処理委託事業＝△2,293万7千円（生活環境課）

■その他

→3月補正における減額補正の主な内容は、事業費の確定等に伴い減額補正するものとなっています。

△はマイナス（減額）を表しています。

一般会計3月補正予算等の概要について

1. 一般会計

(単位：千円)

会計区分	補正前	補正額	補正後	備考
一般会計	23,311,037	291,155	23,602,192	

2. 特別会計

(単位：千円)

会計区分	補正前	補正額	補正後	備考
太陽光発電事業	79,550	68	79,618	
鉄道経営対策事業	40,216	60	40,276	
国民健康保険(国民事業)	5,726,001	11,245	5,737,246	
国民健康保険(診療所)	106,326	△ 15,386	90,940	
後期高齢者医療	692,359	18,085	710,444	
介護保険(保険事業)	4,761,261	35,902	4,797,163	
戸別浄化槽事業	4,258		4,258	
農業集落排水事業	90,092	△ 8,782	81,310	
企業用地整備事業	1,500		1,500	
富弘美術館事業	128,088	△ 6,355	121,733	
競艇事業	166,064,452	944	166,065,396	
合計	177,694,103	35,781	177,729,884	

3. 事業会計

(単位：千円)

会計区分	補正前	補正額	補正後	備考
簡易水道事業	収入	214,936	△ 55,975	158,961
	支出	233,418	△ 49,748	183,670
公共下水道事業	収入	1,600,205	△ 103,069	1,497,136
	支出	1,775,508	△ 110,774	1,664,734
合計	収入	1,815,141	△ 159,044	1,656,097
	支出	2,008,926	△ 160,522	1,848,404

■繰越明許費補正

1. 一般会計

(追加)

(単位：千円)

款	項	事業名	金額
2	総務費 1	総務管理費 社会保障・税番号制度システム整備事業	12,754
2	総務費 1	総務管理費 電子地域通貨事業	433,688
3	民生費 1	社会福祉費 温泉施設整備事業	179,138
4	衛生費 1	保健衛生費 新型コロナウイルスワクチン接種事業	11,060
6	農林水産業費 1	農業費 農林業物価高騰対応支援事業	24,021
6	農林水産業費 1	農業費 調整池等機能回復事業	29,039
6	農林水産業費 1	農業費 清水新沼整備事業	9,056
8	土木費 3	都市計画費 公園管理総務事業	7,710

(変更)

(単位：千円)

款	項	事業名	補正前	補正後	増減額
2	総務費 1	総務管理費 公共施設等総合管理計画事業	32,321	36,945	4,624
8	土木費 2	道路橋梁費 道路新設改良事業（単独）	50,000	147,900	97,900
8	土木費 3	都市計画費 土地利用計画事業	12,478	81,168	68,690

■債務負担行為補正

1. 一般会計

(変更)

(単位：千円)

事項	変更前		変更後	
	期間	限度額	期間	限度額
立地適正化計画策定業務委託料	令和6年度	12,400	令和6年度	6,400